

| | | | | | | | |
|---|---|-----|-----|------------------------|-------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | スポーツマネジメント (CC301) | | | 担当教員 | 末永 貴久 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 3年・前期 | 必修・選択 | 選択 (コース必修) |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| グローバル化している日本社会において、スポーツ振興に関わる業態においても、企画の能力が求められている。また、マネジメント力をつけることは、団体・組織のリーダーになる上で必要不可欠である。本講義では、ディスカッションやグループワークを通じて、地域のスポーツ振興に寄与する各種スポーツ事業計画を企画・立案し、プレゼンテーションできるようにすることを狙いとする。特に自分の出身地や、興味のある地域のスポーツ振興に関する企画・立案を講義の中で展開していく。 | | | | | | | ④⑤⑥⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 | |
| 専門力 | 地域の事情を把握し、その地域に関係づいたスポーツ振興に関する企画をたて、プレゼンテーションすることができる。 | | | ・受講者の発表 (プレゼンテーション) | | 40% | |
| 情報収集、分析力 | 自分の考えまとめ、伝達することができる。スポーツに関連する社会的課題を収集し、分析することができる。スポーツに対する様々な見方、考え方を理解することができる。 | | | ・受講者の受講態度 ・課題レポート | | 30% 30% | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | 受験要件 | | | |
| 合計 | | | | 100% | | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 授業における課題レポート(評価比率30%)、スポーツ事業に関わる企画書(事業計画書)の作成および約5分間のプレゼンテーション(評価比率40%)、さらにグループでのディスカッションやグループワークにおける協調性や積極性にて評価する(評価比率30%)。課題レポートに関してはポートフォリオを使ってフィードバックする。グループワークが多くなるので、受け身な授業態度は大幅な減点を課す。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 本講義では、民間や行政で事業計画を作成、マネジメントを経験した講師が指導し、「スポーツマネジメント」の基礎的な理論を踏まえた上で、自身の出身地や佐世保市をモデルの地域として、スポーツによる地域振興を目的とした総合型地域スポーツクラブ、商業スポーツ施設、イベント、各種教室などの事業計画書を作成する。様々な資料から現状を分析し、将来、その地域がスポーツによる持続可能なまちづくりが達成されている姿をイメージして企画立案し、さらにプレゼンテーション能力を身につける。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書:特になし。講義内において適宜プリント等を配布する。参考書:特になし。 指定図書:「スポーツマネジメント入門」2021 相原正道、他 晃洋書房 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本講義の受講生は、原則「スポーツ社会学」→「地域スポーツ」→「スポーツマネジメント」の履修モデルに沿って受講する履修者とする。学生としてふさわしい態度で、意欲的に授業に取り組んでほしい。 ・スポーツツーリズムコースの必修科目であることから、スポーツの「マネジメント」に関する本を読むと共に、日頃からスポーツ全般についての情報に興味を持ち、さらに実際にスポーツに関わることにより、スポーツ界の動向について関心を持ってほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 1 | スポーツとマネジメント | 本講義の目的や内容、全体の構成について説明する。また「スポーツマネジメント」の概要について解説し、世界との比較をする。 | 予習：「スポーツマネジメント」という言葉の意味を調べておく。 復習：「スポーツマネジメント」の概要について確認する。 |
| 2 | スポーツマネジメントは何か | スポーツマネジメントに求められるマネジメント理論の全体像を解説する。スポーツのSDGsを知る。 | 予習：スポーツがマネジメントしている組織を調査する。 復習：スポーツマネジメントの概念について確認する。 |
| 3 | スポーツ組織のマネジメント | 日本におけるスポーツ競技団体のマネジメントやNPO法人、プロスポーツ、企業スポーツについて説明する。 | 予習：スポーツ組織の現状について調べてくる。 復習：各スポーツ組織の法人格や形態について確認する。 |
| 4 | スポーツによる地域マネジメント | スポーツツーリズムと地域マネジメント、シティプロモーションについて、具体的な事例を説明する。 | 予習：スポーツツーリズムによるまちづくりをしている地域を調べておく。 復習：スポーツマネジメントされた地域の具体例を確認する。 |
| 5 | 「する」スポーツのマネジメント | スポーツ実施率や競技人口を説明し、「する」スポーツの多様性を理解する。 | 予習：スポーツの競技人口を調べ、その変遷を見ておく。 復習：「する」スポーツコンテンツの多様性を確認する。 |
| 6 | 「みる」スポーツのマネジメント | スポーツ観戦市場、観戦者の心理、パブリックビューイングについて説明する。 | 予習：スポーツ観戦にはどのような形態があるか調べておく。 復習：スポーツ観戦市場の多様性を確認する。 |
| 7 | スポーツ情報とマネジメント 競技力向上のための情報とその活用 | スポーツの情報、IT、フェイクニュース、PDMCA サイクルについて説明し、インターネットパソコンの利用について解説する。競技力向上のための情報の種類、情報収集方法、活用方法、モラルについて説明する。 | 予習：最近のスポーツ情報を調べておく。 復習：パソコンやデジタルについて確認し、インターネットを用いたコミュニケーションを試みる。 |
| 8 | スポーツマネジメントとまちづくり | スポーツによるまちづくり戦略を説明し、スポーツ実施率向上の方策や、継続的なスポーツイベントについて説明する。 | 予習：スポーツとまちづくりとはどういう意味か考える。 復習：スポーツによるまちづくりの戦略を確認する。 |
| 9 | 新しいスポーツマネジメントの手法 | 総合型地域スポーツクラブと指定管理者制度、パブリックスペースの活用や地域スポーツの資金調達について説明する。 | 予習：指定管理者制度について調べておく。 復習：いくつかの新しい地域スポーツを支えるマネジメントについて確認する。 |
| 10 | 総合型地域スポーツクラブのマネジメント | 県内の総合型地域スポーツクラブの事例を紹介し、成功事例、課題、今後の展開などについて説明する。 | 予習：県内の総合型地域スポーツクラブを調べる。 復習：総合型地域スポーツクラブを具体的に把握する。 |
| 11 | スポーツ事業の計画・運営・評価 (1) | 実際に事業計画を作成する。どのような種類の企画があるかを説明し、事業計画のイメージを説明する。 | 予習・復習：事業計画書を作成する。 |
| 12 | スポーツ事業の計画・運営・評価 (2) | 各自が作成中の事業計画におけるマネジメントの細部を説明し、不十分な点の解決を行う。 | 予習・復習：事業計画書を作成する。 |
| 13 | 事業計画書作成・プレゼンテーション (1) | A:企画書提出・プレゼンテーション、B:傾聴質疑、C:プレゼンテーション進行 | 予習：プレゼンテーションの練習を5～10回実施してくる。 復習：プレゼンテーションの振り返り |
| 14 | 事業計画書作成・プレゼンテーション (2) | B:企画書提出、プレゼンテーション、C:傾聴質疑、A:プレゼンテーション進行 | 予習：プレゼンテーションの練習を5～10回実施してくる。 復習：プレゼンテーションの振り返り |
| 15 | 事業計画書作成・プレゼンテーション (3) | C:企画書提出、プレゼンテーション、A:傾聴質疑、B:プレゼンテーション進行 | 予習：プレゼンテーションの練習を5～10回実施してくる。 復習：プレゼンテーションの振り返り |